

談合勢力を励ます一審判決を追認する不当判決 上越市ガス水道局談合事件裁判の控訴審で判決

ガス水道局談合事件裁判（上越市ガス水道工事談合損害賠償請求履行請求事件）の控訴審の判決が11月29日、東京高裁（斉木敏文裁判長）で言い渡されました。

判決言い渡しは、斉木裁判長が「原告の請求は棄却する。訴訟にかかわる費用は原告の負担とする」とのべただけで、わずか10秒ほどで終わりました。

この裁判で私たち原告団は、平成18年4月から平成23年6月までの間に、上越市ガス水道局発注の本支管工事において、入札参加業者が受注調整をした結果、1億3000万円からの損害が上越市に発生したとして、ガス水道局管理

者に対し、談合を告発した2業者を除く12の業者に損害請求せよと訴えてきました。3月6日の新潟地裁での一審判決に続いて、控訴審でも不当判決が言い渡されたこととなります。

原告団は当日、団長の私のほか、鷲澤和成副団長、平良木哲也事務局長など三人が上京しました。判決後、記者会見は行いませんでしたが、新聞、テレビなど報道各社の記者数人から取材されました。

当日は弁護団が都合により出席できなかつたこともあって、判決文全体を読んでおらず、弁護団との協議もしていない段階でしたので、記者の質問には、私から、

「談合勢力を励ます一審判決を追認する今回の決定は極めて残念で、許せない。今後、弁護団と相談してこれからの対応を決めたい」と簡潔に答えさせてもらいました。上の写真は東京高裁が入っている建物です。

上越市が2回目の原子力防災訓練実施、課題も

上越市は11月19日、柏崎刈羽原子力発電所において緊急事態が発生したとの想定で、市役所木田庁舎、柿崎区、吉川区、大潟区、浦

川原区、大島区の各総合事務所などにおいて防災訓練を行いました。

今回の原子力防災訓練は2回目。東京電力、新潟県から警戒対象発生のお知らせを受け、災害警戒本部を設置。その後、施設敷地緊急事態、全面緊急事態へと発展するシナリオのなかで行われました。

本部会議はテレビ会議という形で午前8時半過ぎから行われ、私も傍聴しました。災害警戒本部は対策本部に格上げされましたが、防災無線で緊急事態を市民に知らせるとともに、原発から30キロ以内の町内会を抱える関係区では広報車による住民への伝達、自主防



【オオイヌノフグリ】オオバコ科の越年草。漢字で「大犬の陰囊」と書きます。先月28日、直江津は石橋にて撮影しました。オオイヌノフグリは早春に紫色の小さな花を咲かせるのですが、こんなに早く咲くとは……。

災組織の活動の確認などが行われました。

福島第一原発の事故がいまだに収束しない中で、全国では原発再稼働に対する反発の声が強まっていますが、原発が稼働していても事故は発生する可能性があります。そういう意味では意義のある大事な訓練ですが、全的に重視する取り組みとなっていないなど弱点も指摘されています。

この問題は今回の定例議会の一般質問で私も（13日に登壇の予定）とりあげます。



薪を燃やしてコンニャクづくり

先週、三和区のある家でめずらしい光景に出合いました。コンニャクづくりです。それも、最後の茹でる場面、何と薪を燃やして作業をされていたのです。大島区から移住してきたというこの家では、ひと冬に約60キロのコンニャク玉を消費するとか。近所や友人等に配って喜ばれているそうです。

はしづめ法一の活動レポート

No.1835 2017.12.3

発行・編集 日本共産党上越市議 橋爪のりかず
Tel 025-548-3628
通じないときは 090-5392-1961
E-mail hasiznyg@ruby.ocn.ne.jp
URL <http://www.hose1.jp/>



ブログ
「ホーセの見
てある記」は
← こちら

橋爪法一

検索

春よ来い

第四八三回

七曲がり

一月上旬、川谷地区で行われた「川谷もより大交流会」で懐かしい言葉を耳にしました。それは「七曲がり」。「七曲がり」と呼ぶところが川谷地区にもあったと聞いて、私はうれしくなりました。

じつは、私が長年住んでいた尾神にも「七曲がり」があったのです。それは尾神の「ガマビロ」(地名)から標高二〇〇坪ほどの「ナナトリ」(地名)を越えて石谷へとつながる道の一部でした。まっすぐ山を登るには急すぎるので、くの字や逆くの字型に道をつくり、高いところへ行ったり来たりできるようにしてありました。

いまから五〇年ほど前、わが家の畑は「ガマビロ」、「ヨシワラ」(地名)、そして「ナナトリ」にありました。キュウリやナス、ネギ、スイカ、メロンなどほとんどの野菜は「ヨシワラ」で、「ガマビロ」では大根、白菜などをつくっていたように記憶しています。わが家から一km以上離れている「ナナトリ」の畑ではジャガイモなどの野菜を作っていました。

「七曲がり」は、畑に持っていく道具や肥料を背負って登ることもあれば、収穫したジャガイモなどを背負って下ることもありました。私はいまでも覚えていますが、ジャガイモを背負いかごに入れて、運んだときのたいそだったことを。これは子どもにはきびしい仕事だったと思います。でも、当時は田んぼも畑も親子みんなでやらないと食べていけない時代でした。

野菜づくりのときだけでなく、春の山菜採りでも「七曲がり」を歩きました。「ナナトリ」周辺はウドやゼンマイ、ワラビ、トリアシなど山菜の宝庫だったので。そして秋、ミヤマツ、アケビ採りや山芋掘りなどで「七曲がり」を通りました。先日、尾神へ行った際、「チョウチ

(地名)から「七曲がり」を見る機会に恵まれました。

「チョウチ」でギンナン拾いをしていた大西(屋号)のお母さんと子ども時代の話などをした後、車に乗りもうとしたとき、目の前に、屏風のように連なっている尾神の山々が見えました。

この尾神の山々の風景の中に「七曲がり」がハッキリと見えたのです。いきなり降った初雪が解け始めたことになって、七曲がりの道筋がよくわかるようになっていきました。こういう機会は雪の降り始めと雪解けが進む春先くらいしかありません。私は、「よしつ、チャンスだ」そう思って、「七曲がり」にカメラを向けました。

この日、「七曲がり」の写真を撮り、インターネットで発信したところ、浦川原区の上猪子田に住んでいた人や安塚区の菅沼に住んでいる人から、「私のところでも七曲がりがありました」というコメントを寄せていただきました。「七曲がり」と呼ぶところが次から次へと出てくるとはまったく予想外でした。

「七曲がり」と呼ぶ道がいつごろからつくられたのかは定かではありません。ただ少なくとも、食糧難の時代には、不便な山の上であっても田や畑を作る必要がありました。そこへ至るルートを確保するために七曲がりの道もつくらなければなりません。おそらく、山間部には私の知らないたくさんさんの「七曲がり」があり、それぞれドラマがあったのだらうと思います。

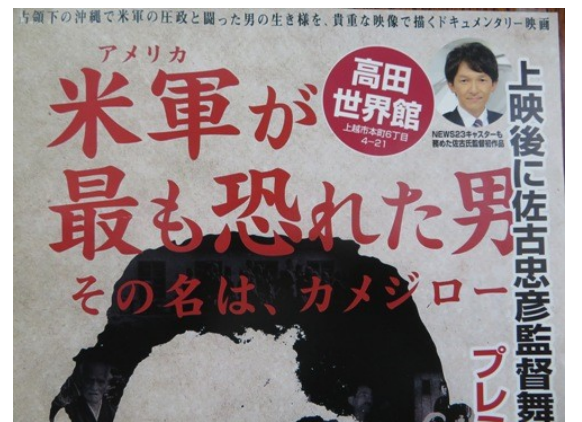
川谷の交流会では、上川谷出身の人が下川谷と上川谷間にあった冬の「七曲がり」を語ってくださいました。豪雪の中、よくカンジキで道をつけ、子どもたちを通学させたと思います。もっとたくさんさんの「七曲がり」のドラマを聴きたくなりました。

注目の「カメジロー」、2日から15日まで高田世界館で上映

新潟日報抄やテレビなどでいま話題の映画、「米軍が最も恐れた男 その名はカメジロー」の高田世界館で2日から15日まで上映されます。

この映画は、沖縄出身の平和と正義の政治家、瀬長亀次郎さん(故人)を追ったドキュメンタリー。監督はNEWS23で筑紫哲也さんとともにキャスターをやっていた佐古忠彦さんです。私は先日、先行映写会で観てきました。

瀬長亀次郎さんは沖縄人民党の委員長、日本共産党中央委員会の副委員長を務めた人です。どんなに弾圧されても、いつも国民のために不屈に闘う姿勢はすごいと言います。また、瀬長さんの演説は絶大な人気があったといわれています。



瀬長さんの闘いは今の沖縄の闘いにつながっていて、学ぶことの多い映画です。ぜひご覧ください。

上越地域各消防署における空間放射線量測定結果

測定は毎日午前9時。数値はマイクロシーベルト。1時間当たりの測定量です。消防署によると、通常は1時間当たり0.016~0.16μSv(マイクロシーベルト)だとのことです。

	11月22日(水)	11月29日(水)
上越南消防署	0.040	0.040
上越北消防署	0.043	0.047
新井消防署	0.047	0.040
頸北消防署	0.053	0.053
頸南消防署	0.050	0.050
東頸消防署	0.043	0.050
高士分遣所	0.047	0.050
名立分遣所	0.053	0.053

市内各地で新そば祭り



新そばの美味しい季節となりました。市内では板倉、大島、安塚、牧など各地で新そば祭りが開催されています。

先週、私は吉川区尾神の新そば祭りに出かけてきました。小雨が降る天気でしたが、大勢のお客さんがありました。私は千円のザルそばを楽しみました。